

もりや英明 ニュース第16号



丸亀市議会議員

もりや英明活動報告書

皆様、いつも変わらぬご支援に感謝申し上げます。
今後も「地域のために働きます!!」をモットー
に、安心・安全なまちづくりのために全力で取り組
んでまいります。

今回、3月議会におきましては、大綱5点につきまして質問させて頂きました。

丸亀市議会R7.3月定例会 総括質疑および答弁



1.高齢者移動支援について

質問

現在、免許証の返納等により交通手段を持たない高齢者の数は、年々増加し続けており、その移動手段の需要も増加し続けている。特に団塊の世代が全て75歳を迎える2025年以降、この高齢者の移動支援については、緊急かつ重要な問題である。地元ボランティアによる「お出かけ便」は移動手段を持たない高齢者にとり、ドア・トウ・ドアによる移動は非常に喜ばれ、価値ある事業と考えるが、運転手不足から事業の拡大・充実が進まない。

① 郡家地区で2年間、実証実験したデマンドタクシーの成果および改めて地区を変えて実証実験を行う目的は?

② 地元ボランティアで行っている「お出かけ便」へのライドシェア制度の導入を提案するが、市の考えは?

答弁(都市整備部長・健康福祉部長)

① 利用人数については、当初の4倍以上に増加したが、月に400人程度に留まっている。利用者の多くは、高齢者であり病院や買い物が主な目的である。AIを活用しており費用対効果があまり良くないことから、3年目は綾歌町富熊・栗熊地区において、AIを使わず実証実験を行い利用データを比較・検証したい。

② ライドシェア導入については、タクシー事業者が許可を得て、実施するものであり、事業実施意向を持つタクシー事業者が必要となることから、現時点における導入は難しい。

もりや英明活動日誌



- 1月
- 6日 御用はじめ
 - 8日 小学校始業式
 - 12日 丸亀市消防出初式
 - 丸亀市二十歳の成人式
 - 14日 全員協議会
 - 15日 議会運営委員会
 - 18日 ハーフマラソン説明会
 - 19日 金山隣保館新築安全祈願祭
 - 25日 住民座談会
 - 26日 広島町訪問
 - 28日 1月臨時議会
 - 全員協議会
 - 議会運営協議会
 - 総務委員協議会
 - 30日

- 2月
- 2日 丸亀ハーフマラソン大会
 - 4日 G1四国地区選手権セレモニー
 - 5日 教育委員会表彰式
 - 12日 新市民会館事前説明会
 - 13日 土地開発公社理事会
 - 14日 八丈池ソーラー説明会
 - 18日 議会運営委員会
 - 市民会館特別委員会
 - 教育民生委員会協議会
 - 全員協議会
 - 22日 アーバンスポーツフェスタ
 - 26日 3月定例議会 開始(～3/25)
 - 28日 代表質問

もりぶら ウォッキング



「住みよいまちづくり」のために、皆様のご相談をお伺いしております。

【相談内容】

- ① 防犯灯・カーブミラーの設置
- ② 市道・私道の修繕舗装
- ③ 空き家除去申請
- ④ 保育所への入所手続き
- ⑤ 生活保護の受給申請
- ⑥ ひとり親家庭医療給付
- ⑦ 新規農機具購入補助
- ⑧ こども医療給付 ほか

もりや英明
なんでも無料
相談窓口

ご用の方は下記までご連絡下さい。

発行人 もりや英明後援会
〒763-0092 丸亀市川西町南858番地3
TEL 090-8692-0540



2.自治会加入促進に関する条例制定について

質問

自治会加入率の低下が進行した場合、住民同士の交流や、自治会が担っている防災や防犯、そして、ごみ拾いといったまちの環境美化など、公益的な取り組みが更に減少、または停滞する恐れが予想される。自治組織の維持は住民にとっても行政にとても重要である。

- ① 自治会加入率の推移は?
- ② 加入率増加に向けた取組み及び成果?
- ③ 自治会加入促進に関する条例制定に対する市の考えは?

答弁(協働推進部長)

- ① 平成26年度が56.6%、令和元年度が52.3%、そして令和6年度が46.4%。
- ② 市内分譲マンションの入居者に啓発チラシ等の配布を行った。
- ③ 自治基本条例の中にも「市民の自主性を基本とした自治活動の尊重」が明記されており、条例化は困難である。

3.地域医療について

質問

2025年には団塊の世代がすべて75歳を迎えるため、後期高齢者の急増が予想されており、人口の構造は大きく変わり、医療に対するニーズや医療体制にも変化が生じることが予測されている。医療機関の機能分化及び連携を通じて質の高い医療を効率的に推進することが求められており、その対策として、医療機関を機能別に高度急性期・急性期・回復期・慢性期に分け在宅医療の充実や医療従事者の確保を推進している。本市の対応は?

答弁(保健福祉部長)

「第2次丸亀市健康増進計画」などに基づきながら医師会等の協力のもと、市民への健康に関する啓発や健診の実施などを中心に推進する医療の逼迫については、中讃広域2市3町に坂出市、宇多津町、綾川町を加えた3市5町と県が連携しながら、病院の運営補助と施設整備補助を行い、地域医療の維持、継続を図っていく。

4.デジタル技術を活用した災害対策について

質問

南海トラフ地震や様々な自然災害発生に備え、危機管理課においては各種事業を実施し、本市における危機管理体制も年々、レベルアップしているが、これら事業が実際の災害発生時に即したものとなる様にデジタル技術の導入を提案したい。東かがわ市では、災害発生時の迅速な罹災照明の発行のため新しくシステムを導入した。本市におけるデジタル化の状況並びに今後の計画は?

答弁(市長)

罹災証明発行のシステム導入については、県管理の被災者支援システムの導入の検討が開始されており、機能面やコスト面などを総合的に勘案し、導入に向け検討する。マイナンバーカードを活用した避難所情報の把握については、カードの携行率が高まった際に活用できる様に調査研究していく。

5.再生可能エネルギー施設の適正な設置に関する条例の制定について

質問

昨年12月議会において、「再生可能エネルギー施設の適正な設置に関する条例の制定に関する請願」が地元住民より提出され、審議の結果、賛成多数により採択されたところであるが、条例制定に向けた取組みはどの様な状況なのか?

答弁(産業生活部長)

まずは、事業者が市内の土地やため池等で太陽光発電事業を実施する際の手続きや、周辺住民への事業説明を定めた要綱の制定に向け準備を進めている。条例の制定に向けては、環境審議会や議会の意見も聞きながら進めていきたい。

令和7年 3月議会提出議案

2月26日から3月25日までの間、定例3月議会が開催され、下記の議案について審議されます。

【主な内容】

議案第3号から議案10号まで令和6年度一般会補正予算

51億5,898万8,000円の増額

- ① 広島茂浦・市井地区テレビ放送共同受信施設改修工事 747万2千円
- ② 後期高齢者医療療養給費負担金 3,232万4千円
- ③ 有害鳥獣確保事業費 743万円
- ④ 地籍調査事業費 8,002万円 ほか

議案第18号から議案26号まで 令和7年度一般会予算

771億5,898円 前年度比80億円増額

- ①こども家庭センター事業費4,080万3千円
※「こども家庭センター」の設置に伴い、支援体制の強化を行う。
- ②災害用備品購入費1億697万7千円
※避難所環境改善のため、各種資機材の整備を行う。
- ③瀬戸内国際芸術祭事業費7,804万6千円
※R7年度開催予定の芸術祭に関する事業費ほか

丸亀市市政20周年事業

平成17年3月22日に「新」丸亀市としてスタートした丸亀市は、令和7年3月22日に市制施行20周年を迎えます。この節目となる機会をとらえ、市民全体で祝い、夢と希望あふれる本市のさらなる飛躍に向けて、「丸亀市市制施行20周年記念事業」が実施されます。



新市民会館の名称が
決まりました。



シアター マド
THEATRE MAdo

窓を積み上げた個性的な外観から着想。
丸亀市民会館が人と人をつなぐ「窓」
人と世界(文化芸術)をつなぐ「窓」
独自の文化を発信する「窓」
になることへの願いが込められています。